

## 趣旨説明

わが比較思想学会は二〇二三年（令和五年）に創立五十周年の記念の年を迎える。

その五十周年の記念事業を企画するプロジェクトチーム（座長、中島隆博東京大学教授）も立ち上がり、その会議の中で、「五十年前の創立期・黎明期にかかわられた諸先生方の思いを、記録として残すのも大きな記念事業となる」という意見が寄せられた。

学会創立にあたっての趣旨は学会ホームページや創刊号でしるぶことができる（まもなく創刊号も学会ホームページで閲覧ができるようになる）。そのおかげもあって、こうして『比較思想研究』本号（第四七号）においても充実した研究報告がされている。しかしながら、ありがたいことに当学会も世代交代が順調に進む一方、学会を創立された各先生方がいだかれていた「体温」を知る者が少なくなってきたのも事実である。

この先、学会を運営していくのにあたり、七十五周年、百周年を迎えるべく、創立に直接かわられた諸先生方や、黎明期からかわられた諸先生方の思い出を語っていただき、そのあつき思

いやご苦労話を聴くことで、比較思想の原点を再確認するとともに、今後の糧としていきたい、とわれわれは考えた。

はじめ、当学会の設立時・黎明期を知る諸先生方の座談会を催し、それを活字おこしすることを企画したが、周知のように現在のコロナ禍により実現にいたらなかった。そこで今回は、直接、お二人の先生から原稿を投稿していただいた。なお、この企画は、計三回を予定している。

（編集部）